

豚流行性下痢の確定診断について

平成26年2月27日（木）、本県の養豚農場において、豚流行性下痢（PED）を疑う事例を確認し、2月28日（金）から中央家畜保健衛生所にて病理学的検査（免疫染色）により確定診断を実施した結果、3月4日（火）に、PEDと確定しました。

なお、今のところ本県では、当該養豚農場以外に、本病を疑う事例は確認されていません。

また、PEDはウイルスの感染による豚の感染症です。人には感染することはありません。

1 現在の状況(平成26年3月4日 10:00時点)

| | |
|------------------------|----------------------------|
| 現在の発症頭数 ^(注) | 450頭（子豚150頭、肥育豚50頭、母豚250頭） |
| 死亡頭数（累計） | 8頭（子豚3頭、肥育豚5頭） |

（注）現時点で下痢やおう吐の症状が見られる豚の頭数

2 農場の防疫措置

- （1）治癒までの間、豚の移動を自粛要請
- （2）豚舎の消毒等まん延防止対策の徹底を指示

[報道機関へのお願い]

農場等での取材は、本病のまん延を引き起こす恐れもあることから、厳に慎むようお願いいたします。

平成26年3月4日（火）
高知県農業振興部畜産振興課
衛生環境担当
担当 谷本、利岡
電話 088-821-4553